

ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ



株主の皆様の日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染対策に万全を期しながら社会経済活動の正常化を維持する中で、企業収益や雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も緩やかに持ち直すなど、景気回復傾向が継続しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安に起因する物価上昇などの景気後退懸念により、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

情報サービス産業においては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPAなどのDX推進に向けた需要を軸に企業等のIT投資は拡大基調が続いています。

当社ではお客様と綿密なコミュニケーションを図り、提案活動の継続強化に注力した結果、新規案件の獲得や既存案件の追加受注に結びつき、当期の売上高は堅調に推移しました。また、利益面については、お客様対応に必要な技術者を確保するため新入社員を増やすとともに、若手社員をはじめとする技術者への教育投資および賃金改善に取り組んだことでコスト増となったものの、前期比で増益となりました。

ここにこの1年の取り組みについてご報告させていただくとともに、株主の皆様におかれましては、引き続き当社をご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

濱田 広徳

OUR VISION AISビジョン

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



Q1 お客様のニーズやIT投資の状況はいかがでしょう。

A1 IT投資としっかり向き合うお客様が増えています。デジタル技術を活用して業務フローを見直したり、新たな事業基盤づくりを目指そうというDXへの期待が背景にあります。最近では企業を狙ったサイバー攻撃に備えるためセキュリティ強化のご相談や、デスク業務の自動化や効率化を図るRPAの導入も拡大しています。ITシステムが老朽化する「2025年の崖」問題もあり、クラウドサービスへの移行も加速しています。

この1年は、主力のネットワークサービス部門がアウトソーシング案件の拡大とともにお客様への提案活動を強化し、順調に伸びています。システム開発部門は業務系アプリケーション等の開発案件獲得に努めたものの、短期案件の終了に加え、お客様のDX推進に関わる案件で技術者の一部をネットワークサービス部門に移行させたことから微減となりました。システム運用部門は市場の縮小が続いているものの、一部案件で契約料金が改善され、当期は売上増となりました。

Q2 4月1日付で組織変更と役員異動が行われました。主な変更点とその狙いをお聞かせください。

A2 4月1日付で「パートナー推進部」と「情報システム室」を新設し、「技術企画室」を「経営企画室」に統合しました。「パートナー推進部」は、引き続きアウトソーシング案件の拡大を図っていくにあたり、ビジネスパートナーとの信頼関係や公正な協力関係の基盤強化を目的としております。また、「情報システム室」は、当社の情報セキュリティの強化とともに、ITインフラや社内システムを継続的に整備していくために、技術企画室から分離し専任組織としました。

役員異動は、ガバナンス強化の観点から、取締役就任後も計画的に所管業務をローテーションし、幅広い経験と実績を積ませることで全社的な視点を持った経営幹部を育成することとしており、今回の組織変更にあわせて取締役の担当職務の変更を行いました。成長を持続する強固な基盤づくりに欠かせない改革といえます。

Q3 中期業績目標の1年目が終了しました。手ごたえはいかがですか。

A3 売上高、営業利益ともに計画値を超える結果となりました。このため、2022年3月期の実績数値を起点とした中期業績目標について、売上高を14,750百万円（13.7%増）に、営業利益を1,390百万円（11.4%増）にそれぞれ上方修正しています。コロナ禍の3年間は、在宅によるテレワークが増えるなど、お客様とコミュニケーションが図りづらい環境下でありましたが、積極的な提案を行うことで信頼を勝ち得ることができたと評価しています。

今後も引き続き、DXやセキュリティ関連の業務を拡大していきたいと考えています。DX関連で特に注力していきたいのは、AWSやAzureといったクラウドサービスと開発のスピードを高めるローコード開発やアジャイル開発の分野です。また、セキュリティ関連では、サイバー攻撃の検出や分析、対応策を検討するSOC（Security Operation Center）の分野を強化していきます。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

SUSTAINABILITY サステナビリティ

当社では、企業理念のもと持続可能な社会の実現と地球環境の保全に取り組んでおります。

<事例紹介>

株主優待制度により 「日本赤十字社」へ寄付



2022年3月31日を基準日とする株主優待において、「日本赤十字社へ寄付」を選択された株主様などから優待品の相当金額をお預かりし、日本赤十字社へ寄付させていただきました。

寄付金額：570,000円

使い捨てコンタクトレンズの 空ケースリサイクル活動に参加



「アイシティ ecoプロジェクト」とは、コンタクトのアイシティ（HOYA株式会社 アイケアカンパニー）が2010年4月より開始したりサイクル活動です。「空ケースの再資源化による環境保全」「障がい者の自立・就業支援」「日本アイバンク協会への寄付」の3つの社会貢献につながっています。

「あしなが育英会」に年賀はがき (未使用、書き損じ)を寄付

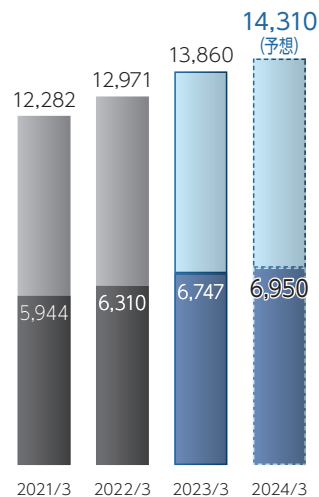


一般財団法人あしなが育英会は、病気や災害などで親を亡くした子どもたちや、障がいなどで親が十分に働けない家庭の子どもたちを、奨学金、教育支援、心のケアで支える民間非営利団体です。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

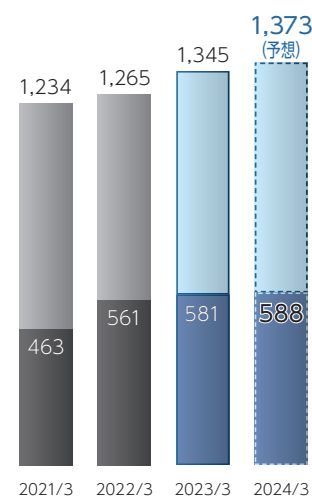
売上高

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



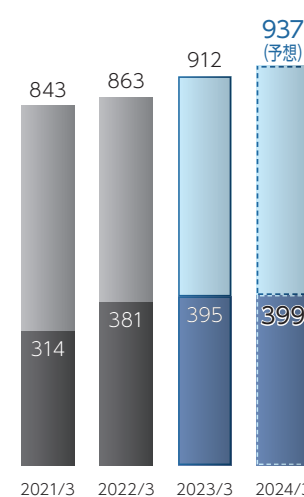
経常利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



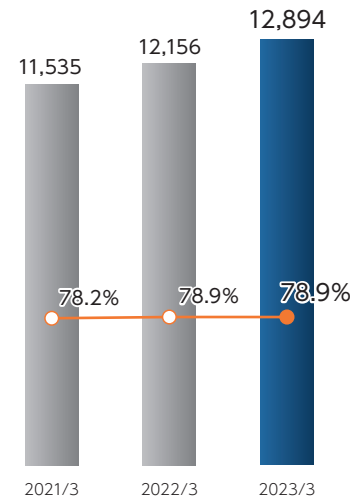
当期純利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



総資産 / 自己資本比率

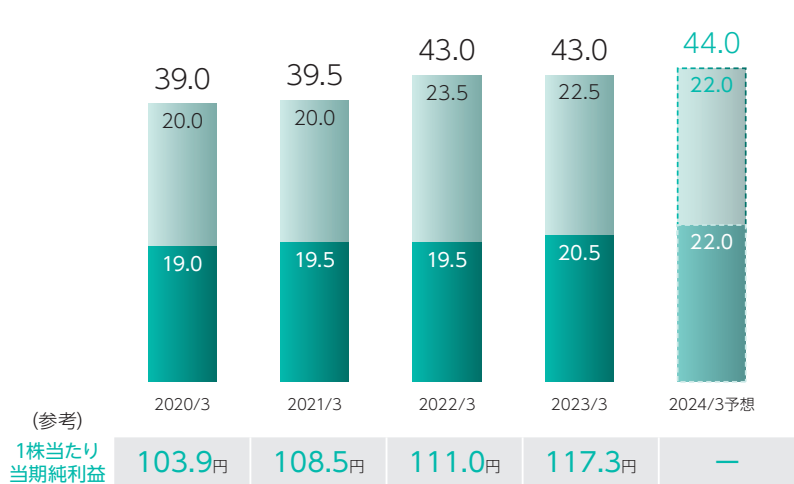
単位：百万円



DIVIDEND 配当金

配当金の推移

単位：円



(注) 2022年3月期の期末配当金23円50銭の内訳 普通配当20円50銭 記念配当3円00銭

SHAREHOLDERS INFORMATION 株式の状況

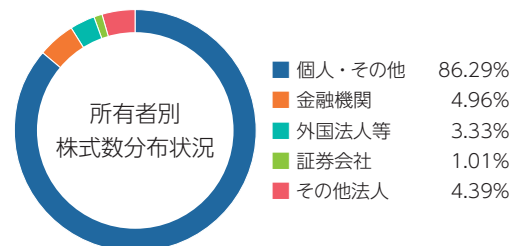
株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	5,706名

株式分布状況

(2023年3月31日現在)



CORPORATE DATA 会社概要

会社概要

(2023年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
社員数	1,746名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

役員

(2023年6月22日現在)

代表取締役社長	濱田 広徳
常務取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役	田茂 義之
取締役	水島 克典
取締役相談役	田中 博
取締役(社外)	岩田 守弘
取締役(社外)	久保 英資
常勤監査役	上関 孝昭
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役(社外)	清水万里夫
監査役(社外)	三原 秀章

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

● 証券会社に口座をお持ちの株主様

お取引の証券会社にお問合せください

● 証券会社に口座をお持ちでない株主様

左記電話照会先にお問合せください

● 特別口座の株主様
株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆様のご支援に感謝し、年1回の株主優待を実施しております。(毎年5月発送)

贈呈
基準

毎年3月31日現在で、**500**株以上お持ちの株主様

優待
内容

保有株式	優待内容
1,000株以上	カタログギフト7,000円 または日本赤十字社への寄付
500株以上 1,000株未満	カタログギフト3,000円 または日本赤十字社への寄付



寄付について

株主様のご意志により社会貢献活動にご参加いただけるよう、寄付項目を設け実施させていただきます。寄付金は、日本赤十字社が行う災害救護や新型コロナウイルスなどの感染症拡大防止、防災・減災の教育などの活動資金に活用されます。

寄付項目を選択いただいた株主様、優待品の受け取りを事前に辞退された株主様、カタログギフトの申込期日までにお申し込みをいただかなかった株主様につきましては、優待品の発送に代えて、その相当金額を上記活動団体へ寄付させていただきます。

<寄付に関するご留意事項>

- 必要経費を除いた金額を、旭情報サービス名義にて、日本赤十字社に寄付させていただきます。
- 領収書、その他の寄付を証する書面等は発行いたしませんのでご了承ください。
- 株式会社ハーモニックよりお礼状をお送りさせていただきます。

旭情報サービス株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
<https://www.aiskk.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。